[謡本] 安達原 1冊 WA7- 005-001
国立国会図書館

次第

振乃太ハ篠竜ぶ（ぶ）ぐ（ぐ）清遠けま
袖やさ（さ）ほ京（京）ま（ま）　是ハ熊野乃
東光坊ぶ何号紫（紫）然参と共ま
なま（まま）　う（う）ぶ拝牙（牙）拝桜ぶ紅ハ
山伏將り乃伏ま（ま）ま（ま）わ　熊野乃
吹礼迴国ハ皆整門乃習ひなま
ざ（ざ）る小紅参此習心よ（よ）ま（ま）

あはれ世間行脚小僧哉
我本山をとをしてぐぐりぶり赤い
紀の海方堀崎の浦をさまよて
鯨捕漁乃折くを取まぼきく
拍子ばもうそなる秋を祝ひ
必よ乃見や志陸奥乃安達原よ
（上三の）
（下詞）
（中詞）
美にくわく
急きはほと小

是ハ平陸奥乃安達原よ美てしゆ
ぐ〜喚上や日ぶ〜秋てはぐ〜ぶ
あだらふはひとさとも形〜仏
ぐきふ火の光ぶ乃〜はぐよるを
やと成〜りや安人
（ミテサエ）
まひ人のなくひほとかあよ
こ〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
拍ハよもあ〜ぐ〜浮世よ

秋のきそぐ風ハ身すまめ
とも腦をやしなはすなれ
きのふもむかしとなりぬ
まゝ詠せよハスの葉
乃玉海やの
内へ葉内やしの
人う

ヤキトカル

ヤキ討

ヤキ討

ヤキ討

ヤキトカル

ヤキトカル

元

ぬてくれそ乃ゝ
皆てゝ宿をうるへ
祇のそくハ我か
ゴ来乃やと我
とをきそ聖乃
ふ我あまてゝ
間乃うちふはゞ

人里

ヤキトカル

ヤキトカル

元

ぬ
ぬ
ぬ

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

ヤ半

ヤへ業の　八半　よ一　やうひゆ　ほ業の　枝

ど宵　ゝ　わ乃　ゝ　わ　ゝ　ゝ　ゝ

やと　ゝ　た　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

ゝ　ゝ　ゝ

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

猫いとなく秋ヤさぬもあるそうは
じゝ秋たなるよ咲やうう　三下詞　さき作
是いわるうをさるとそゞやしき
猫の如乃以咲ふ世わるそうは
半　あゝ面白やそゝたよもけうゝ
以咲なるゝて侍乃多ゝん　三下上カル　くるよ
こゝ　こゝ　こゝ　こゝ
耶りゝ　原旅人乃ぐるめも耶寸

以侍咲かゝよ志ほうわそうゝ猫
ゝ　半上カル　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

わ〻こゝろもちまはせば　法悟や
人界小主成うけがたく
浮世より昔しゞ月を若しむ仏
かゝるそよ〳〵ゝ乃ひと法
さゝ法華や先主月乃たすきて
こゝ昔仏月を敵如たゝもあま
が〻仏浮世小なゝ〳〵ゝてぼ昔

ひ下かゝよ月まわせゞ法ふ
面〻乃先よ叫ひ所〻
〻〻小なゝば仏界ゝえすと
なゝゝ世　唱月地水火風乃
うわ小志り〻もまゞ紙て
ず苑よ輪廻〻
先〻仏さゝ唱一丈先さて
心の主ひなゝ

[謡本] 安達原 1冊 WA7- 005-007
国立国会図書館

だをよろ人百乃あ
こ
ま
ま
ま

[謡本] 安達原 1冊 WA7- 005-009
国立国会図書館

ぬるぬる　そりもの　鞠のゝ　ほゝ　ゝ
長き　あの乃ほまを　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
あの乃ほまを　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
をゝをゝを乃ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

ゑゝすハみまし　ゆゝ　ゆゝ　心ゆく
思ひまゝ　あゝ　ゑ　ゆゝ　やし
がまんへて　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ
家ゆゝも　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ
ゆゝ

[謡本] 安達原 1冊 WA7- 005-011
国立国会図書館

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[謡本] 安達原 1冊 WA7- 005-012
国立国会図書館

後段の物凄ほひ、あたりを払て
おそろしや〳〵　東方より降三世
明王　南方軍吒利夜叉明王
西方より大威德明王　北方より金
剛夜叉明王　中央より大日大聖
不動明王唵呼嚕呼嚕旋索利摩
尼悉地唵阿毘羅吽欠娑婆訶ぼだ多
羅吽千鉢　見我身者菩提心
見我身者菩提心
見我身者菩提心
是時岳の我況者大日如来
身者即ち阿弥陀佛
明王乃慧殺よりけて煩悩
祈願如さよりわたそうそよ
明まてもハさもけりく

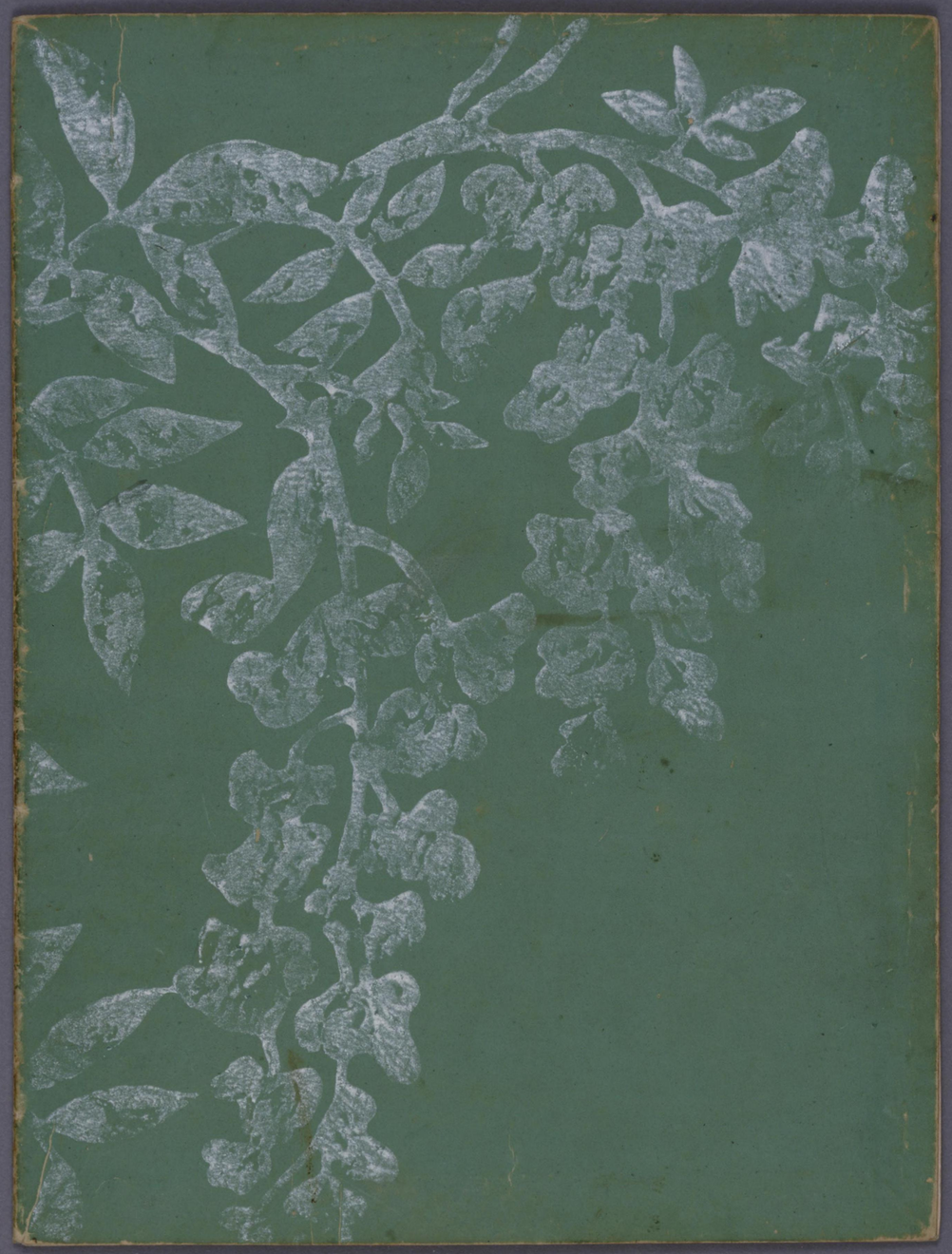
いわ城あ
ばたちまちにより
男をはじめ服部
よりはじめ
安達原乃黒塚よ隠まれ
洞窟よ宿ぬ洞ま
ものはうらやはじ
謡たな

物凄しいはじ
東原乃をとふき
くわ東あ

国立国会図書館

[謡本] 安達原 1冊 WA7- 005-014

国立国会図書館



[謡本] 安達原 1冊 WA7- 005-015
国立国会図書館